

事務事業評価(事前評価)シート【平成29年度】

主管課(担当名)	農林課(林務・自然保護担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	春国岱ふるさとの道整備事業	事業番号	12690

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	4-3	自然資源の賢明な利用促進
	施策目標	人と自然が共生しその恵みを次世代へ引き継ぐまち	

2 事務事業の目的

目的	自然災害(暴風・高潮・高波)により破損した「風蓮湖・春国岱」の木道を整備し、貴重な自然環境を保全し、併せて自然教育の場としての活用を図り、地域社会の振興に寄与する。
成果	自然環境や景観に配慮し、耐久性・経済性・維持管理等を総合的に考慮したなかで「春国岱ふるさとの道整備工事」を実施し、全ての木道コースを開通させるとともに、希少な自然環境の保全を理解する場や大切な観光資源としての活用が図られる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要					
	27						
	28						
	29	自然災害(暴風・高潮・高波)により破損した「風蓮湖・春国岱」の木道を整備する。工法については、湿地帯での実績があるダイヤモンドピア工法に加え、耐久性に優れた「イペ材」を採用するなど、恒久的な災害対策と自然環境への負荷が少ない方法で整備を実施する。					
	30						
	31						

		(単位:千円)	H27	H28	H29	H30	H31	総事業費	
事業費と内訳	事業費				100,095			100,095	
	内訳	国庫支出金							
		道支出金							
		地方債							
		その他				100,000			100,000
		一般財源				95			95
	人員(人工)				0.5			0.5	
	職員費(人員×7,696千円)				3,848			3,848	
	総事業費				103,943			103,943	
維持管理	管理主体								
	運営方法								
	維持管理費	施設維持費							
		概算人件費							
	合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H28)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	春国岱遊歩道の整備率	45%	100%	100%

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	春国岱の自然景観の魅力の1つである、「世界でも2例しかない砂丘上のアカエゾマツ林」まで散策することが可能となることから、その魅力を全国へ発信するとともに、希少な自然環境の保全を理解する場や大切な観光資源としての活用が期待される。
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<p>■かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない</p> <p>世界有数の野鳥の楽園である「風蓮湖・春国岱」は、野鳥観察や自然環境教育の場として利用されていることから、自然散策路の整備について必要であり、多くの市民ニーズがある。</p>
イ. 市が実施する必要性	<p>■市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である</p> <p>木道の管理者である市が実施すべきである。</p>
ウ. 事業の緊急性	<p>■緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない</p> <p>「アカエゾマツ林を散策したい」といった観光客からの強い要望が多く寄せられ、早急に全てのコースの利用再開が求められている状況であるため、緊急性が高い。</p>
エ. 手段の適切性	<p>■適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある</p> <p>平成28年度に自然保護団体等との意見交換会を実施し、地元要望を参考とし整備を進めるため妥当である。</p>
オ. 事業の公平性	<p>■公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある</p> <p>平成28年度に自然保護団体等との意見交換会を実施し、地元要望を参考とし整備を進めるため公平性は高い。</p>
カ. 事業の有効性	<p>■本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない</p> <p>湿地帯での実績があるダイヤモンドピア工法に加え、耐久性に優れた「イペ材」を採用するなど、恒久的な災害対策と自然環境への負荷が少ない方法で整備を実施するため、希少な自然環境の保全を理解する場や大切な観光資源としての活用が期待され、本事業の有効性は高い。</p>

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<p>【速やかに実施】</p> <p>速やかに事業推進を図られたい。活動指標については設定例を参考に修正されたい。</p>
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<p>■計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する</p> <p>希少な自然環境の保全を理解する場や大切な観光資源としての活用が図られることから、速やかに事業推進に取り組むこととする。</p>

作成年月 平成29年6月